

令和7年度 第4回全国健康保険協会山形支部評議会議事概要

開 催 日	令和8年3月17日（火）～令和8年3月30日（月）
開 催 場 所	書面開催
出 席 者	伊藤評議員、金山評議員、菅野評議員、小沼評議員、齋藤評議員、保科評議員、水澤評議員、吉田評議員、吉原評議員（五十音順）
議 題	<p>1. 令和8年度 保険料率・支部事業計画及び保険者機能強化予算</p> <p>（1）都道府県単位保険料率、介護保険料率及び子ども・子育て支援金率について</p> <p>（2）支部事業計画の最終報告について</p> <p>（3）保険者機能強化予算等の最終報告及び主な取組みについて</p>
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>1. 令和8年度 保険料率・支部事業計画及び保険者機能強化予算</p> <p>（1）都道府県単位保険料率、介護保険料率及び子ども・子育て支援金率について</p> <p>（2）支部事業計画の最終報告について</p> <p>（3）保険者機能強化予算等の最終報告及び主な取組みについて</p> <p>【被保険者代表】</p> <p>保険料率については、日々職員の皆様のご尽力され、9%台を維持していただいていることに深く感謝申し上げます。多くの積立金を抱える中で、将来を見据えた判断として一定の理解はしている。しかしながら、被保険者に対しては、減率の可能性や積立金の在り方について、より明確に示す時期に来ていると考える。また、今回の特別措置が料率決定後に講じられたことについては、これまで議論を重ねてこられた関係者の皆様に対し、結果として失礼にあたるのではないかと受け止めている。下がったから良い、ということではなく、料率決定のプロセスそのものが適切であったのかと問われた事案であると考えている。</p> <p>事業計画については、報道にもあるように、メンタルヘルス関連の医療支出が増加傾向にある。今後は、会社側と働く側の相互信頼の向上を軸に、より一層の対策強化が求められると考える。また、若者への支援を重視していただいている点は、大変ありがたく感じている。子ども子育て支援金制度が始まるが、実際に「産み育てる」のは現役世代である。そのため、現役世代へのさらなる支援策の検討も、是非お願い申し上げます。</p>